『被災者の皆様と佐々井秀嶺さん ーふれあいのつどいー』

インド仏教徒１億５千万人の指導者
佐々井秀嶺さん南三陸町来訪！

来たる6月27日、津波被災地で郷土復興のため「必生」の努力を続けておられる皆様、人間復興に命を掛けてきた佐々井秀嶺さんが、南三陸町を訪れます。
被災された皆様におかれましては、お忙しい毎日、また心身ともにお疲れのことと拝察申し上げますが、ぜひともこの機会に御縁を結んで頂きたく、御案内申し上げます。　合掌

佐々井（ささい）　秀嶺（しゅうれい）　師〈僧侶〉

1935年(昭和10年)8月30日、岡山県新見市生まれ。
青年時代、数々の深い苦悩の果てに出家。東京高尾山にて修行。
昭和40年、タイへ仏教留学のため日本を離れ、二年後、インドへ渡る。
以来、2009年に至るまでただの一度も祖国の土を踏まず、インド最下層民衆(身分制度で虐げられたら人々)の真っ只中に身を置き、彼らと同じ水を飲み同じ物を食し、苦楽を共にしつつ、差別解放・仏教復興に尽力する。
1987年インド国籍取得。
2003年にはインド中央政府の少数者委員会(日本の国会で副大臣にあたる)の仏教徒代表に選出される。
現在インド仏教徒一億五千万人の指導者。
※昨年6月、緊急帰国し東北被災三県の津波現場で読経供養を勤めた。

「煩悩なくして生命なし。必ず生きる……必生(ひっせい)。この大欲こそが、大楽金剛です。
すなわち、煩悩は生きる力なのです」

H23.6　被災地供養行脚

平成24年
6月27日（水）
午後２時　『被災された皆様と佐々井秀嶺さんーふれあいのつどいー』佐々井秀嶺師講演
午後３時　佐々井師と被災された皆様との懇話会
午後５時　散会

●場所　南三陸町ホテル観洋　クイーンエリザベスの間
●費用　無料
●対象　被災された東北の皆様（当日会場までお越しください）

●お問い合わせ
電話　080-3387-3733
主催　佐々井秀嶺師ふれあいのつどい実行委員会